

「主と教会の関係の奥義」エペソ5：31－32 17・10・22

先行する神の恵み。まず神が私達を愛し、命を与え、男と女に母の体の内に造られた恵みを感謝したい。また、キリストの私達の罪の為の十字架の打ち傷から、私達、教会が新しく生まれた恵みを感謝したい。

I 「それゆえ、男は父と母を離れ（精神的に、経済的に自立して）、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである（神から与えられた性の交わりは、結婚まで待つ愛が必要。結婚前の性の交わり、結婚外の性の交わりは、神の前に罪。性の交わりは、結婚の中でのみ祝福される。守られるように祈りたい）」：31。

II 「この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです」：32。

「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである」の深い奥義の意味パート2→

1. この奥義の最高峰に登りたい。

アダムは、エバなしに不完全だった。この欠け、不足は、エバが造られた事により満たされた。ある意味で、エバは、アダムを完成させる。アダムに欠けていたものを満たす。それはキリストと教会の関係を示している。

1：23で「教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」とある。

教会は、キリストの満たしをもって完全にされる。エバがアダムの満ちているところをもって完全にされるように、教会もキリストの満ちておられるところをもって完全にされる。

と同時に奥義であるが、仲保者として、キリストも教会なしには満ち満ちていない。これは最も偉大な奥義。神と人の仲保者としてのキリストは、ご自身が、救いのために死なれたすべての人々の魂、「異邦人の数が満ち」、「すべてのイスラエル」が集められるまでは、満ちる事も、完成する事もない。それが実現してはじめて、キリストは満ちており、その満たしは完成する。

これは偉大な奥義。これは、完全な神の御子キリストが、私達を救う為に、ご自身に一つの制限を加えられたという事。私達の救い主となられる為、人間の性質を取られる中で、一つの制限を負われた。キリストは、永遠に神であられる。その神性が減少する事はない。神であるキリストは、クリスマスに、私達人間を救う為に、私たち人間の身代わりに死ぬ為に人となられた。この世におられた時、知らない事、弱さのある者にへりくだり、「弱さのある人間のようになられた」。罪は犯されなかったが。そして、神と人の仲保者として、教会が完全なものになるまで、全く満ちたものとはならない。花婿であるキリストには、結び合されるべき花嫁、教会がいる。彼らはー

体となる。

主キリストは私達の過去・現在・未来の罪の為に十字架で死なれ、私達の罪の贖い、償いを完全に成し遂げ、三日目に死に勝利し復活され、40日間、証しをされた後天に昇られ、父なる神の右に着座され、今は、私たちの為にとりなしておられる。

ここで大切なポイントは、キリストは受肉される前は、三位一体の神の第二位格の神であり、霊なるお方だったが、受肉され、十字架で死なれ、復活の体を持ってよみがえられた後、天に昇られたキリストには、今も、人としての御性質をお持ちで、完全な神としての御性質もお持ち。神であるキリストに、人性は今もあり、私達も永遠に主キリストのうちにあり続ける。

世の終わりに、主キリストが再臨される時、主は霊の姿ではなく、誰にもわかる、見える、栄光の体を持って、この世に来られる。ハレルヤ！

2. 男は父と母を「離れ」。

キリストは、花嫁である私達、教会の為に、人となり、十字架で私達の罪の為に死ぬ為に、天の御父のもと、栄光の宮廷を「離れ」、罪深い地上に降りて来られ、貧しくなり、家畜小屋で人としてお生まれになった。

「主は、私達の救いの為に、私達と結ばれ、一体となる為に天上の王位、御父のみもとを離れられた。何というへりくだり！何という恵み！」。

主は、へりくだり、御父のおられる天を離れ、栄光の宮廷を離れられた。それは、私達、花嫁の為に！そして、私達の罪の為に十字架の上で、

「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれた。

マタイ27：46。

キリストにとり最高に恐ろしい瞬間だった。その瞬間、永遠の愛の交わりを持っておられた御父との最高の交わりから御子キリストは、「離された」。

罪深い私達が、御父から見離されるはずなのに、御子が罪深い私達の身代わりに御父にさばかれ、「見離された」。御子キリストの花嫁、私達の罪の代価を支払い救うため。その結果、御子の花嫁、私達、教会は、今では、主と一体とされ、主の体の一部、主の肉の肉、骨の骨とされている！

これは、最高の奥義である。これほど驚くべきもの、栄光に輝く恵みはない。

私達は、御子キリストが、御父の御もと、天の位から離れて、この地上に降りて、私達の罪の為に十字架で死に、復活し、主を信じる私達、教会を赦し、愛し、結ばれ、一体となって下さり、今は、キリストの霊的な養分をいただいて養い育てられ、聖められ続けている恵みを心から感謝したい。

日々、主につながり、主と交わり、愛を受け続け、夫、妻、家族、隣人を愛することが出来ますように！